

# 第40回を迎えた天平の花まつり～ごみの山を宝の山に～

今の天平の丘公園内に、昭和38年に国分尼寺跡が発見されました。当時は人里離れた山林でしたので、不法投棄によるごみの山でした。昭和39年から5年に及び発掘作業が行われ全国に例を見ない尼寺の全容が解明されました。ごみを整理し、きれいな山林になりましたが、史跡周辺の整備を進めると同時に、目玉事業を探していた当時の国分寺町長(故 若林英二氏)が全国に小さな町をアピールするには、花まつりが一番と構想を固め、旧町職員も桜の植林に参加し、木々が成長したことから、天平(国分寺)の花まつりを、昭和55年4月に始めました。回を重ねるごとに、モニュメント「銭石」や野外ステージの設置、民俗資料館「夜明け前」のオープン、坊ちゃん列車の運行とバージョンアップを図ってきました。まつりも40回を迎え、期間中を通じて長く楽しめるように桜の種類を増やしました。また、ボランティアによる観光ガイドも持ち味のひとつです。

こんにちの姿は、まさに、すがたせいぶつこうごだいちごみの山が宝の山に変貌した事になります。へいびりんかいまた、園内の美観は、姿西部考古台地コミュニティ推進協議会等や平美林会その他、多勢のボランティアによる定期的な清掃活動に支えられて、保たれています。

資料提供 問合せ先 一般社団法人下野市観光協会  
TEL:0285-39-6900

実は、昭和62年に天平の花まつりと名付けられたんだ。それまでは、国分寺の花まつりと呼ばれていたんだ。



## ◆平成年間の主な植樹 (産地または寄贈者)◆

平成 8年	石割桜 (盛岡市)、滝桜 (福島県三春町)	平成 16年	神代桜 (北杜市長)
平成 26年	関山桜、啓翁桜、八重曙、山桜 (宝くじ桜寄贈事業)	平成 28年	河津桜・花桃 (はくつる会) 鬼無稚児桜 (高松市長)



## 天平の丘観光ガイドのおもてなし～花まつりの影の主役～

園内のガイド活動は、平成 22年 4月に始まり、メンバーの皆さんは、定期的に勉強会や外部研修を行いスキルアップに取り組んでいます。

メンバーは60代の男女11人で構成され、花まつりの期間は、交代で活動を行っています。また、英語が堪能なボランティアが戦力に加わり、パワーアップを図っています。

活動は、ボランティア天平の丘観光ガイドのほか、万葉植物園の管理も行っています。会では、仲間を募集しています。詳しくは広報しもつけ2019年8月号の37ページを参照ください。市HPからごらんいただけます。

下野市の歴史とロマンに思いをはせてもらい、また来たいと思ってもらえたら、うれしい。



つなごうテルね!  
条例4条

### (自治の基本理念)

第4条 市民が主役のまちづくりを推進することを基本理念とする